



ファミリーコミュニケーションデイ企画

あいかわ

自然観察会⑤

終了報告

神奈川県立 愛川ふれあいの村 主催事業

11月4日(日)

しとしと降る雨の中、主催事業『あいかわ自然観察会』を開催し、19名の参加者とともに村の生き物を観察しました。今回のテーマは“紅葉”です。



はじまりの会では、パズルでこの時期に咲くリンドウについて解説をします。紅葉を見るのはもちろんですが、足もとの小さな虫や花も観察しました。スタッフとだけではなく、参加者同士も見つけたものについて情報交換をしました。



マユミの実が弾けて、赤い種が顔を覗かせます。6月のあいかわ観察会でも紹介したキバラヘリカメムシがいました。今回もそのフルーティーな香りに「カメムシの印象が変わった。」との感想が出ます。「ヤマトシジミがいたよ。」とその場所を案内してくれる子や草むらや植え込みに虫がいないかと探す大人など、子どもも大人も楽しんでいました。



参加者の1人が「このキノコはあれです。ほら。」とナラタケを発見。その後もたわわに実る銀杏と黄葉・もみじの紅葉を眺めながら進みます。サクラの切り株を掘り、見事にオオセンチコガネを捕まえた参加者もいました。そろそろ虫たちは越冬の準備にはいります。



気温18℃の中（体感はもっと寒く感じました。）、木の温度当てクイズを実施。木の表面は思ったよりも冷たく、その温度は14℃で正解者は1名でした。観察会が終わってからも観察の意欲は衰えません。ミルンヤンマらしきトンボを捕まえて形や模様を観察しました。



チョウは寒さのせい枯れ葉の上でじっとして近づいても逃げません。寒くなると虫たちは動きが鈍くなるため観察しやすくなります。この時期は紅葉が見ごろとなります。景色で楽しむ自然もいいものです。落ち葉をめくってみたり、木の皮の隙間を覗いてみたりすると隠れている生き物が見つかるかもしれません。また、今後ますます紅葉が進む愛川ふれあいの村に見学に来てください。

次回の『あいかわ自然観察会』は12月2日。テーマは“野鳥観察”です。すでに到来をはじめている冬鳥もいるため、何種類の鳥が見られるか今から楽しみです。皆様のお越しをお待ちしております。

【文責：石川 写真：吉田・愛川ふれあいの村スタッフ】